

---

# さきばしれメロス

上口司

---

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

## 注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

### 【小説タイトル】

さきばしれメロス

### 【コード】

N3018H

### 【作者名】

上口司

### 【あらすじ】

友人が作った小話を文章化しました。

メロスは全裸だった。

メロスは妹の結婚式の買い出しのため、200メートルほど離れた隣の町にやってきた。

しかし、道行く町の人々の表情はなぜかみな一様に暗い。

気になったメロスは、その辺にいた青年を呼び止め、首を引きちぎったが、彼はだらしなく白目をむいたまま話をしようとしなかった。

別の人を当ろうと、エーゲ海沿岸の強い夏の日差しを避け、木陰に腰かけて平安を享受していた老人の首を絞めたが、やはり彼も口を割ろうとしなかった。

仕方なくメロスが老人の細い腕を一本折ると、彼は断末魔の悲鳴とともにようやくその重い口を開いた。

「王様は……王様は、アリの殺します！」

「は？」

老人はどっと噴き出した脂汗を拭いつつ苦しそうに話した。

「王様はまず最初にアリのを、次にアリのを、それだけでは我慢できなくなつてアリからアリへと殺してゆき、とうとうアリまで殺してしまつたのです！」

メロスは老人の告白を固唾を飲んで聞いた。そして、驚愕を隠しきれずに震える唇で次の問いを口にした。

「王様は全裸か？」

「いいえ、葉っぱを一枚つけております」

「どこに!？」

「……頭に」

メロスは激怒した。必ず、かの邪智暴虐の王を除かなければならぬと決意した。

メロスはその話を聞くや否や、王宮に乗り込んだ。

憲兵に抑えられつつ、メロスは玉座にふんぞり返る王に向かって叫んだ。

二人とも全裸です。

「王様、王様はなぜアリを殺すのです!」

「うるさい、黙れ。お前に俺の孤独な心が分かってたまるか。お前の様な市民は絞首刑にしてやる!」

「ま、待って下さい。私はまだ死ぬわけには参りません」

「なぜだ? ここに来て命が惜しくなったか?」

「妹の結婚式があるのです。あと五日……いえ、三日だけ時間を下さい！」

三日もいらぬ。

「ふん世迷言を抜かすな、この卑怯者めが！ 逃げ出す気だろう！」

「違います、それは私の名誉にかけてありえません」

メロスは須臾の間虚空を見つめていたかと思うと、急に向き直ってこう言い放った。

「その証拠に、この町にいるわが親友を人質にしてください！」

私が帰ってこなかったなら、かの男を処刑するのです。

彼ならきつと、私が裏切るような人間でないと知っていますから、私を信じて待っていてくれるでしょう」

「して、その男とは誰なのだ！」

「その男は……」

メロスの口元に、家来や大臣たちの視線が一気に集中する。

「王様です！」

メロスは無論帰ってこなかった。

王は処刑された。

かくして、町は平和になったとさ。(終)

## PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能たんのうしてください。

---

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。  
<http://ncode.syosetu.com/n3018h/>

---

さきばしれメロス

2010年10月11日00時53分発行